

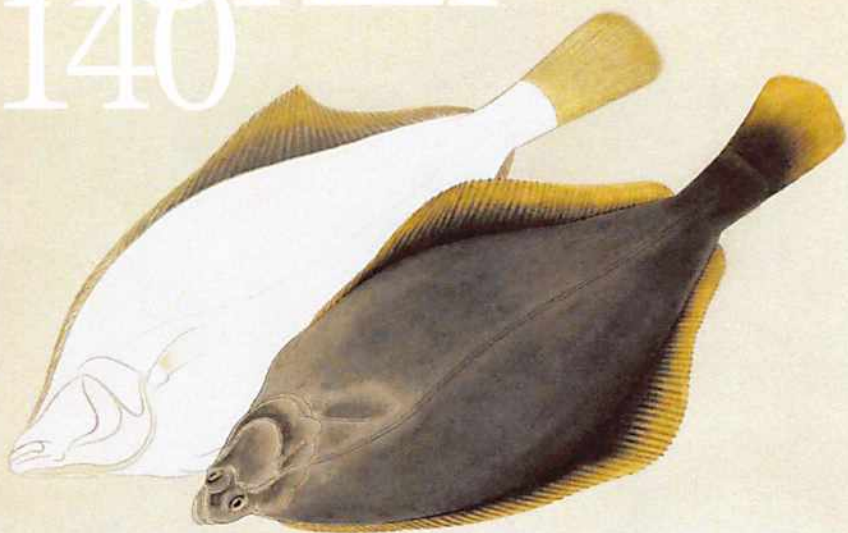
生誕140年

小林古径展

2023.10月21日(土) - 11月12日(日)

10:30-18:00 休廊日/毎週月曜日

KOKEI
140



鏡軸部分



小林古径
画室にて(昭和24年頃)

小林古径は、1883(明治16)年、新潟県中頸城郡高田土橋町(現・新潟県上越市大町)に生まれ、本名を茂(しげる)といました。

明治時代に岡倉天心(おかくらてんしん)のもとに集結した日本美術院の画家たちが、「朦朧体(もうろうたい)」など新しい日本画の表現を模索し切り開いたとするなら、小林古径はそれを引き継ぎ、さらに高みを追求し日本画壇を牽引した画家といえます。古径の作品は、時に厳格で完璧すぎると評されることもありますが、その人柄のようにどこか観る人をほっとさせる温かさを感じられるような気がします。

生誕140年のこの機会に郷土の作家「小林古径」の世界をお愉しみください。